

KOKONOE  
FreePaper

2022.9  
vol.16

# BASARE

九重からこのえへ

# BASARE

九重からこのえへ

「九重からこのえへ、しあわせのおすそわけ」をテーマに、

ふだん着姿のたくさんのいいもの・いい人を町の人が発見し、まちの人へ伝えるフリーペーパーです。

\*バサレとは、大分の方で「たくさん」という意味です。

ネイティブKoKoNoE

このえレコード

牛飼い道

九重の自然を守る会のこと

発行日：2022年9月16日 発行人：九重町公民館 BASARE プロジェクト 本書への問い合わせ先：九重文化センター 大分県玖珠郡九重町  
TEL：0973-76-3888 Mail：bunka@town.kokonoe.lg.jp Facebook ページ：https://www.facebook.com/basare.kokonoe/  
ハッシュタグは九重町 HP からご覧いただけます。本書は、無料で配布しております。  
本書の一部または全部を無断で複写、複製することを禁じます。 Printed in Japan © Kokonoe Town.

QRコードから  
九重町バサレページに  
ジャンプします。



方言つかっち  
はなせ〜ばい!

# ネイティブ KokoNoE 会話編

じえんたい、  
おしえゆに  
なります。



方言マイスター  
きよっさん

方言とは、共通語・標準語とは異なった形で、一地方だけで使われる特有の言葉。  
絶妙なニュアンスで伝えることのできる方言は、そこに住む人たちだからこそわかる  
『合言葉』のようなもの。九重の合言葉(方言)を使った会話は、クスツと笑えてあたたかい。  
今回は、九重のあちこちから聞こえてくる何気ない日常会話を集めてみました。  
若い世代の方たちも、ぜひ!使ってみてください。

## 会話その4 探していた塗り薬が、 結局は自分のすぐ近くにあった時の会話



お医者からもらった塗り薬はどきない〜た?  
自分しそき置きよったじゃねーへ  
なんぼ探してんねえ〜んじゃ  
しょうじょうつ探したへ?  
どこぞこ置いちやらんはずやけど...  
はがい〜!  
**おんたんわけ**  
あるじえねーへ!  
あつたあつた!  
こきあつたわ(笑)  
じゃき、そきあるち  
言うたやねーへ!

「おんたんわけ」とは、  
あな方のすぐそば、  
つちゅう意味ばい。



## 会話その1 数名で重い荷物を持つ時の会話



こん荷物がし〜んけん  
おみくき、持つちかつせちよくれ  
い〜ぐれ〜んこつちやね〜  
おーかた二人でよかろうばい!  
い〜くばい  
腰をきやつちせんごつ  
い〜いばい

「こーの」とは、  
複数名で力を合わせる時、  
気合を入れるために  
使う言葉ばい。



こーのっ!!

## 会話その2 野菜をおすそ分けする時 の会話



どしこいるへ?  
あるし〜でいいばい  
こしこしかねーばい  
せしこでいいばい

「ばされ」とは、  
ちくまん、という意味が  
あるばい。



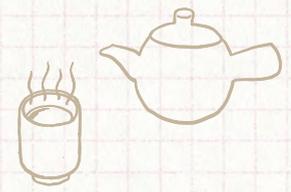
※冊子のBASAREはこの方言を使つちよるばい。

## 会話その5 夕方4時頃、隣の家に寄った時の会話



おごめ〜ん、おごつそが出来よるへ〜  
おごつそはしよら〜ん!どしたへ〜  
ちこつまで来たき、  
もの言うて帰ろうち思つて  
茶どん寄つちえ飲みなはい!  
ほんならよばれようかたな  
はい、す茶と漬けもんをどぞ  
お〜きにやんた、  
今日は外があち〜き、  
ちつと冷ましちえ  
いただこつかたな  
.....  
10分後.....  
あんた、早よ飲まなお茶が  
**へめりなりよるばい**

「へめり〜」とは、  
熱い飲み物が、冷めて生ぬる〜なつた  
状態のことを言うばい!  
それと、緩慢な行動に  
対しても使つちばい。



いちばん駅の数が多かった時

**7**駅  
野矢駅・豊後中村駅・引治駅・恵良駅  
\*久大本線  
町田駅・宝泉寺・麻生釣  
\*旧宮原線



いちばん乗降が多かった時の人数

昭和40年頃  
恵良駅 **21**万人

引治駅 **7万1**千人・豊後中村駅 **37**万人

いちばん暑かった日と寒かった日

2010年8月19日 **38.3**°C  
2012年2月3日 **-14.7**°C

いちばん生徒数が多かった年と人数

昭和38年3月  
小学生 **2,087**名 中学生 **1,812**名

いちばん雪が降った日

昭和38年1月30日  
飯田地区  
一晩で約50cm積もった日が2回ありました

**110**cm

いちばん高いところにある石橋

宝山にある  
妙見宮の車橋

標高 **721**m

いちばん高い山

星生山  
標高 **1,762**m

北町の知ってるように知らない色々な「いちばで」を探してみよう

**このえレコード**

KOKONOE RECORD

このえレコードスタッフ調べによるものです。

いちばん世帯数の多い行政区

令和4年時点  
菅原本村 **57**戸

バス停の数

現在 **174**カ所

九重町コミュニティバス全線/  
玖珠観光バス(麻生釣までの区間)/  
亀ノ井バス(熊の墓から牧ノ戸間)

いちばん高いところにある建物

牧ノ戸峠レストハウス  
標高 **1,329**m  
行政区:筋湯

投稿いただいた  
我こそはナンバー1

手打ちそば風来坊さん横  
幹周りがなんと  
**4m35cm**もある  
立派なクヌギを発見!

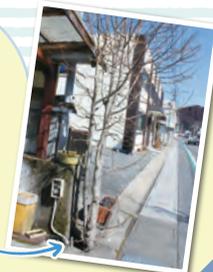


インスタ映え  
決定!



ど根性

のある木  
水路を流れてきた  
タネから芽が出て  
成長しています!



会話その6  
こけてしまった  
時の会話



昨日、  
買い物に行っちゃ、  
足元見らんなり行きよったら  
段差に引つかかっちゃ、  
店前で**ばちこけち**、  
**てがて**〜ち言うちから  
ありやせん!

んま〜、あんた!  
そりゃふがわりかつたな!  
気をつけなて!

「ばちこける」とは、  
勢いよくこけることばい。  
「てがて〜」とは、  
耐え難い、恥ずかしい  
つちゅう意味ばい。

会話その7  
飴を飲み込んで  
しまった時の会話

飴玉を**ひん飲んじ**  
しもうた!

どげ〜もね〜へ?

こんめかつたき  
なんちゃねーけど、  
喉んあたりが  
きしよくわり〜わ〜

**おだつちえ**  
飴なめながら  
つーじまわるきて

「ひん飲む」とは、  
勢いよく飲み込んで  
しまった時に使うばい。  
「おだつ」とは、  
調子に乗る、ふまける  
つちゅう意味ばい。



会話その8  
大げさに聞こえてしまった  
時の会話



いてて  
ててててて!

どしたんね

物置きん入り口に腕を  
うつつちしもうた、  
いててててて!!  
腕が折れたかんしれん

**ぎゅーらしー**

「ぎゅーらしー」とは、  
騒がしい、騒がしい、  
大げまっつちゅう  
意味があるばい。



CHECK!



わかりたい方言は  
こちらをチェック!  
YouTubeでご紹介しています。



畜産/3年目  
父・祖父・親戚でやっていますがメインは私です。

畜産/9年目  
家族でやっています。父・母・私の3人です。

**Profile** 城戸 優誠 きど ゆうせい  
年齢:23歳(平成11年4月3日生)  
休日の過ごし方:バイクや、車でドライブ

**Profile** 森 宗美 もり むねみ  
年齢:44歳(昭和53年9月28日生)  
休日の過ごし方:子どもの習い事の観戦

# 「牛飼い道」

- My daily time schedule**
- 7:10 起床
  - 8:00 牛の体調チェック、掃除、餌やり、牧草の刈り取り、畑(トマト)の手伝い
  - 12:00 畑の手伝い
  - 17:00 餌やり、掃除、人工授精等  
↓  
データ集計等
  - 24:00 就寝

祖父の願いを継ぐ。若き牛飼い。

高校生の時に祖父から聞いた『牛をやめて野菜だけを育てようかな』という一言が農業大学に行くきっかけになった。大学では様々な資格を取得。人工授精も自分でできるようになり、発情時期を知るためのシールを使って人工授精のタイミングを逃しにくくなったという。

最近建てたというメタリックな牛舎で話すその姿は、まさに今時!の牛飼いさん。それとは対照的な祖父の時代に建てたという歴史が詰まった牛舎でも牛を育てて3年目。祖父の時代にはなかったタブレットを使い、市場データの分析や牛の管理をしているという。

孫の働きぶりに感謝していると祖母からは感動の涙が込み上げたが、これは城戸さんが家業を継ぎたいと今まで努力された何よりの証拠。畜産だけでなく色々なコミュニティに参加し、輪を広げていきたいと語る若き牛飼いの姿があった。

- My daily time schedule**
- 5:00 起床
  - 5:30 餌やり(子牛にはミルクも)
  - 9:00 親牛を運動場へ連れていく・午後の餌やりの準備
  - 12:00 農作業(米、牧草)
  - 15:00 餌やり、掃除、運動場から連れて帰る
  - 18:00 子牛にミルクと餌やり
  - 21:00 就寝

親から子へ。未来への想い。

大分市IT系の会社でサラリーマンをしていた森さんは、2人目の子どもが生まれたときに九重に戻ってきた。そんな森さんはエネルギーな見た目、牛を見つめる瞳には我が子を見守るような優しさを感じられる。

森さんの畜舎はとても広い敷地内に点在しており、気品漂う馬や崖つぶちを余裕綽々の表情で渡る山羊も、のびのびと過ごしている。曾祖父の代から45年続いた畜産は母牛2頭から始まり、現在は親牛30頭、子牛20頭すべて血がつながっており、親戚になるという。

これからの目標は現在の牛の頭数を維持しつつ、いずれは息子に継いでもらいたいと語る森さん。その表情からは、父の姿を見て育ってきた森さんが今度は自分の背中を見せる番だと言っているような気がした。

**memo**

取得した資格

- 人工授精
- ガス溶接
- 牛の爪の削蹄(さくてい)
- 牽引
- アーク溶接
- 大型特殊免許

**Q大変なことは?** 牧草の刈り取りと人工授精が大変です。

**Qやりがいは?** 人工授精が上手くいった時や、自分の育てた子牛が高値で売れた時は嬉しいです。

**memo**

小さい頃から餌やり、掃除など牛のお世話をしていたので、いずれは九重に戻って継ごうと思っていた。奥様から「実家に戻って継いだら?」と言われた。

**Q大変なことは?** 暑い日も寒い日も、台風の日でも気候に関係なく働かなければならないところです。

**Qやりがいは?** 子牛が無事に産まれた時は嬉しいです。分娩は人の手を加えず自然に任せる!のがモットーです。



九重の自然を守る会



理事長:高橋 裕二郎



事務局長:小山 正記



理事:西山 薫吉



「九重くじゅうの自然を守る会」とはどのような団体ですか？

自然保護のボランティア団体ではあるが、ボランティアと言ってしまうと仰々しい感じがしてしまいますね。私たちはみんな九重が好きだという思いが根本にあり、その美しい景色や豊かな自然をいろんな人たちと共有したくて活動を続けています。また、九重を守り残していくことにつながればという思いから、楽しく、無理なく、自然体での活動をしており、会が発足して61周年となります。必要だからするという訳ではなく、自分たちの庭を手入れするような感覚で当然のことをしているような感じですね。

具体的にどのような活動をしていますか？

「動植物愛護活動」、「遭難対策活動」、「環境整備活動」、「教育活動」を事業として行っています。「動植物愛護活動」では、樹名板の設置、巣箱の設置補修、自然観察路の整備、外来種の駆除(オオハシゴンソウ・ヒメジオオン)、野焼き。「遭難対策活動」では、指導標の設置、一人二石運動、登山道の補修。「環境整備活動」では、清掃登山、木道の補修。「教育活動」では、自然観察会、九重町の児童・生徒に向けた自然教育支援などが具体的な活動としてあります。

どのくらいの方が参加していますか？

会員数は、347名です。(内、九重町内の会員は103名)会員は日本全国各地にいます。活動ごとにお声がけできる方は限られてきます。会員だから作業をしなければいけないという決まりはなく、活動の案内には毎回「無理なく参加できる方はぜひ、お力を貸してください」と書き添えています。会員みなが九重に対して深い思いがあり、遠く離れた場所からでも九重の自然を大切に思ってくれています。

どんな人が参加していますか？

活動に参加される方は年齢、職業など多種多様な人たちです。先にも紹介しましたが自然を守る会では、大きく4つの事業があり、それぞれ会員自らが好きなこと、興味があること、得意とすることに注力して活動しています。例えば、登山道整備で階段を作成する際に、建設業の関係をしていた方の提案で、タイヤックアンカー工法という手法を採用し、より強固な階段を作成することが出来ました。様々な方々がいるからこそ、多様な活動が出来ていると思っています。



# 九重くじゅうの自然を守る会のこと

九重の自然が保たれているその背景には、「九重の自然を守る会」の存在があります。さまざまな活動の内容、活動への想いを取材しました。

※ここでの九重(くじゅう)は九重連山およびその周辺エリアのことを指します。

会を立ち上げた方は誰ですか？  
また立ち上げの経緯を教えてください。

九重の自然を守る会を語るうえで欠かせない人物が、初代理事長の赤峰武氏です。赤峰氏は、かつて九重への来遊者が増え始めたころ、地元の人たちがあまりにも地元のことを知らなかった現状に、「このままではいけない」と、昭和31年に、当時の飯田公民館主事だった嶋田氏と『飯田高原ガイドクラブ』を作り、会員10人で九重の地理、博物、歴史、民俗などを学習し、無料の登山ガイドなどを行いました。そのうち、さらに来遊者の増加から、山が荒らされ、ゴミが目立つようになり、自然保護運動の必要性を感じ、昭和36年に『飯田高原ガイドクラブ』を基に、飯田高原駐在の沢田厚生省技官、青木農林技官、貞清巡查、嶋田氏、清水氏、そして赤峰氏が発起し、「九重の自然を守る会」を作りました。



赤峰 武

創立61周年と、活動が長く続く秘訣は？

「無理すんなよー、ボチボチやれよー」初代理事長の赤峰氏がよく口にしていた言葉です。自然に対しての活動は結果がすぐ出るわけではありません。急ぐことをせず、背伸びをせず、自分たちが出来る事を自分たちのペースで続けていくことが大切だと初代理事長は私たちに伝えてくれていたのです。その言葉を大事にしなが、活動に取り組めてきたのが今日までの九重の自然を守る会に繋がっていると思います。また、自分たちで楽しみながら、ワクワクしながら活動が出来ていることも一つ大きな理由でしょうね。暑い盛りの作業でも、みんな笑顔なんです。そのほか、登山道での作業をしていると、登山者から「ありがとう」と感謝されることもあります。そういった言葉が私たちに充実感・満足感を与えてくれ、次は何をしようという気持ちになります。

最後に、読者へメッセージをお願いします。

これからも九重のファンが増えてくれればと思っています。九州の登山愛好者の間では「山登りは九重にはじまり、九重におわる」という言葉があるようです。小さい頃や若い頃に登山をした楽しい思い出、年を取ってからもまた何度でも来たくなる美しい景色、九重の魅力はいつになっても訪れた方の心に残るのでしょうか。自然に対して、すべてを守っていくことは不可能ですが、人が手を加えることで守れる自然があることも事実です。将来、九重が変わらず、人々の大切な場所であり続けられることが、九重の自然を守る会の願いであります。



令和3年の年間活動

- 主な4つの活動
- 動 動植物愛護活動
  - 遣 遭難対策活動
  - 環 環境整備活動
  - 教 教育活動

- 自然観察会 (毎週日曜日開催)
- オオハンゴンソウ防除作業 (8月、10月、11月、12月、3月)

■ モニタリングサイト1000里地調査 (3月～11月の第3日曜日)

里山の変化を早期に把握し、保全のために役立てることを目指した全国で行われている環境省のプロジェクトです。

略して「モニ1000」

